残念でした。日本と韓国がそれぞれの目的で必 現在はほとんどいないだろうといっていたので少し が捕れるなんてはじめて知ったけど、とりすぎて るところだったと聞いて、日本海の真ん中でアシカ 知の島のイメージでした。アシカがたくさん捕れ

> 境を変えてしまったりすることにはなってほしく ないと思いました。 要としている竹島ですが、漁をし過ぎてそこの環

島根から北方四島へ

出雲北陵高校一年 山﨑 綾香

を決心しました。 それをもっと知りたいと思い、私は北方領土訪問 ることで、どんどん世界が広がっていく気がしま すが、文化を知ることが好きで、海外の文化を知 に大変興味がありました。英語はすごく苦手で という体験をしました。私は元々、海外という所 加しなければ、こんな思い出つくれなかったなぁ」 和の姿・伝統をしみじみと感じることができます。 す。また、海外を知るだけじゃなく、日本本来の 七月三十日から八月五日まで、私は「これに参

いた北方領土は、まるでニューヨークです。ビルがた わった知識しかありませんでした。北方領土がど らしているのか?全く知識のなかった私が描いて んな場所で、どんな家に住んでいて、どんな風に暮 くさん建っているわけではないけど、大きな家がた 北方領土訪問に参加する前、私には授業で教

> るんだと思っていました。 くさんで、緑が多くて、遊ぶところもたくさんあ

でした。次に『家』です。北方領土の家というのは、 れた感じがしました。住む人々は、みんなロシアの きれいでした。青々として元気の良い山には、癒さ は、緑がとても多く、私が行った時も山がすごく らないほどに、小さな家もありました。北方領土 せんでした。けれど、その大きな家と比べ物にな 様に「ぎゅうぎゅう」となっているわけでもありま たいに「どかん」と建っているわけではなく、日本の 面積は広かったと思いますが、ホワイト・ハウスみ する時も何かにつかまっていないと飛んでいきそう ずっとといっても良いほどのジャリ道で、車で移動 でした。日本の様に舗装されていたわけではなく んど違っていました。まず最初に驚いたのは『道』 ところが、いざ行ってみると、私の想像とはほと



ご飯がバターで炒 いうことができま がたくさん出てきて、 その他にもカロリ めてあったことです。 でビックリしたのは、 せんでした。食べ物 全てを食べきると 人で、日本人はいま の高そうな食事

せんでした。そして、

思うし、何よりもすごく楽しかったです。 え方が発見できたので、とても良い体験だったと でも、これでまた一つ、視野が広くなり、新しい考 良かったです。行く前に描いていたものと実際に 体験したものでは、全く違うものになりました。 す。とてもいいお湯で、自宅のお風呂より気持ち 化の違いを感じたことを今でも鮮明に覚えていま 泉と違って、Tシャツのまま、立って入る温泉で、文 一番驚いたのは、温泉があったことです。日本の温

思うし、少し相手を気使うというのも必要だと 思います。はつきりと人に伝えることも必要だと れますが、私はその両方を持っているのが一番だと 思います。ロシアの人は大人から子どもまで、みん 本の人は、物事をはっきり言うのが苦手だといわ カルでおもしろい人が多くて、考え方も様々で、 たロシアの人は、みんな良い人ばかりでした。コミ 「YES」「NO」をはっきり言える人達でした。日 北方領土でホームステイしたり、出会ったりし

> 走れなかった私よりも元気でした。 行った時も、みんなずーっと走っていたのに、あまり なすごい体力の持ち主でした。スタンプラリ

ビザなし交流に選ばれないと行くことのできない 私のすごく大切な友だちともっともっと会いたい のままではまたいつ会えるかわかりません。私は、 ができるようになることが必要だと思います。今 され、ロシアの人たちも日本人も一緒に住むこと の友達と呼べるようになるには北方領土が返還 島です。やはり日本人とロシアの人たちが、本当 北方領土に行けるわけではなく、私たちのように な友達になれました。でも今はだれでも簡単に ら、また会えるか分からないけれど、すごく大切 した。もちろん私達も同じ気持ちでした。これか れからもずっと友達でいたいです」と言ってくれま けど、そんなの関係なしで友達になれました。こ 敵な仲間を大切にすることを考えましょう」と せましょう。それよりも、この訪問で出会えた素 とは、「この問題を決断するのは、お偉い人にまか 結論にはやくたどり着いたからでした。その結論 合いました。でも、すぐに終わってしまいました。 人ばかりです。確かに国籍は違うかもしれない いうものでした。ロシアの人達は、「日本人は良い そんな人々と『北方領土の問題』について、話し

パネル展示 〈大会会場〉









16 15